

## エペソ人への手紙 2章1-10 節 恵みのみ (ソラ・グラティア)

先週、私たちは新年の幕開けとして、私たちの教会としてのアイデンティティと信仰の基盤となる宗教改革の5つの「ソラ」について学び始めました。最初に学んだソラは「ソラ・スクリプトウラ（聖書のみ）」でした。聖書は靈感を受けた、誤りのない、絶対的な神の息吹による神の御言葉であり、私たちの生活における権威です。本日は改革派の第二のソラ「ソラ・グラティア（恵みのみ）」を見ていきます。これは私たちの救いが、私たちに値せず、また得ることもできない神の恵みに完全に依存していることを意味します。これは今後2週間にわたって学ぶ「信仰のみ」「キリストのみ」と密接に関連しています。恵みとは、神が私たちに示される、ふさわしくないままに与えられる神の好意と慈しみです。これは私たちの信仰の核心そのものです。本日の聖句箇所であるエペソ人への手紙2章1-10節は、神の恵みが私たちの生活にいかに必要であるかを示し、また改革者たちが、救いが完全に、そして何から何まで神の恵みの働きであるという真理を守るために、地上で最も強力な組織の一つであるローマ・カトリック教会に対して立ち向かう覚悟を持っていた理由を明らかにしています。

エペソ人への手紙2章の最初の3節を読みましょう。そこでは、死んだ者には恵みが必要であるため、私たちの人生に神の恵みが不可欠であることが示されています。  
**1さて、あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり、2かつては、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている靈に従って歩んでいました。3私たちもみな、不従順の子らの中にあって、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。**私たちにはなぜ恵みが必要なのでしょうか？私たちは死んでいたからです！死んだ者が自らにできることは何もありません！これが、罪の中に生まれたすべての人の真の姿です。数週間前、私たちは罪の本質について、その私たちの本質そのものによっても、また私たちの選択によっても、神に対して罪を犯すものであると語りました。外見上は、私たちは非常に道徳的で善良な人に見えるかもしれません。社会の目にさえ、私たちは尊敬と称賛に値する人に見えるかもしれません。しかし神の目には、神の御言葉の光に照らされたとき、私たちの生活は靈的な惡の支配下にある死んだ者のように営まれていることが明らかです。罪の中に死んでいるということは、ただ私たちは**この世の流れに従**っていると言うことです。しかしそれはすぐに靈的な問題へと転じます。私たちは実はサタン、ここでは**空中の権威を持つ支配者**と呼ばれる者に従っているのです。私たちの心の中で働いているのはサタンの靈、すなわち**不従順の子ら**としての彼の欲望です。しかし、私たちは自分の人生を振り返り、この描写に反発しがちです。とんでもない！？私はサタンに仕えてなんかいません！故意に神に背いているわけではありません！私たちの心の中では、私は殺人や姦淫、窃盗もしないし、少なくとも憎めない良い人を憎むことはしていないと思う事です。間違いなく自分自身は罪の中で死んでいる人々の中には含まれていないと考えています。しかしそれは、サタンが人々を神を憎む者にして、無神論者を増やそうと企む存在にしたいと思っていると私たちが考えているからです。私たちは最悪の罪人を、神を憎む者として想像しています。しかし実際は、サタンはそうした者を目的としているのです。彼にしてみれば、周囲からはとても尊敬される、極めて道徳的な、神について一切考えない人を作り出すことで十分なのです。

つまり、あなたは**この世の流れに従**うこともできます。日本では、それは模範的な社員であり、素晴らしい家族を持ち、社会で尊敬される立派な生き方をしていることを意味します。それでもなお、あなたを創造した神を拒むことで、サタンに従っていることになります。あるいは、数十億の資産を持つ天才として称賛される**この世の流れに従って歩む**こともできます。それでも、自らを悪魔崇拝者だと称する殺人カルトの指導者と同じく、あなたはサタンに従っていることになります。

私たちがそのことに気づかなければ、私たちの罪に対する見方が神の見方とは異なるからです。私たちは殺人といった重大な行為を罪と考える一方で、自らの利己的な行いの一つ一つが、無限に聖い神に対する冒涜であるとは認識していません。しかし3節は、私たちの罪の利己的な本質を明らかにしています。**かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行って生きて**

いました。私たちの罪の根源には、神の律法ではなく、自らのルールによって生きたいという欲望があるのです。

ですからローマ人への手紙 3章23節は私たちに**23すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず**、と伝えています。

神に従って生き、神を賛美する決断を下す代わりに、私たちは自らの欲望に基づいて自ら作り出した規則、あるいは同じく神に従わない周囲の社会によって作り出された規則に沿って生きています。そして事実、私たちはこの罪の状態に対して何もできないのです。なぜなら、これらの聖句が最初に指摘しているように、私たちは罪の中にあって死んでいるからです。この真理は、宗教改革者たち、特にジョン・カルヴァンに、聖書がすべての人間は**全的墮落**にあると教えていることを認識させました。つまり、私たちはその罪から自らを救うために何もできないのです。死者は自ら何事も成し得ず、私たちの罪は私たちを靈的に同じ窮地に陥らせます。この地上で靈的に死んでいる間、罪の最終的な結末は永遠の死です。私たちは**御怒りを受けるべき子ら**と呼ばれることからもこれを理解できます。聖なる神は完全かつ聖なるお方であり、私たちのあらゆる罪は直接的に神に背くものであるため、私たちの罪は聖なる神による罰を受けるに値し、また罰つせられねばなりません。神は私たちの創造主であり、創造主であるゆえに、何が罪で何が罪でないかを定める権利を持ち、被造物に御自身への栄光を帰することを要求されます。私たちがそれに応じない時、神の正義は、私たちの罪に対する憎しみと怒りゆえに、私たちの邪悪さを罰することを求めます。肉体の生涯における靈的死は、死に至るまでその罪の中に留まるならば、苦しみの中の永遠の死となります。

しかしこの状況の過去形に注目してください。…あなたは**死んでいたのであって死んでいる**ではありません。これが現在形でなく過去形であり得る理由は、死者が恵みを受けるからです。4-9節を見てください。そこには聖書全体で最も神の大いなる愛に溢れているかもしれない言葉が始まっています。

**4しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、5背きの中に死んでいた私たちを、キリストとともに生かして下さいました。あなたがたが救われたのは恵みによるのです。6神はまた、キリスト・イエスにあって、私たちをともによみがえらせ、ともに天上に座させて下さいました。7それは、キリスト・イエスにあって私たちに与えられた慈愛によって、この限りなく豊かな恵みを、来たるべき世々に示すためでした。8この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出したことではなく、神の賜物です。9行いによるのではありません。だれも誇ることのないためです。私たちの罪は私たちを死と無力で絶望的な状態に陥らせました。しかし神は私たちを救いに来られました。私たちは自らを救うことはできませんでした。そこで神は、私たちの想像をはるかに超える深い慈しみと愛をもって、イエス・キリストを遣わし、私たちを罪から救ってくださったのです。使徒ヨハネはこの愛の行為がどれほど深いものであるかを語っています。ヨハネの福音書 3章16節 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。**

父なる神は、御子イエス・キリストを世に与え、世のために死なせました。ペテロの手紙一 2章24節は、イエスが私たちのために与えられたという意味をこう説明しています。そこにはこう記されています。ペテロの手紙 第一 2章24節 キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

イエス様が十字架で死んだとき、彼は罪のための完全な犠牲として死に、私たちの代わりに、私たちの罰をその十字架で負われました。私たちは、自分の罪を悔い改め、罪から離れ、それが神に対する罪であることを告白し、その罪のために死んでくださった方としてイエス様に目を向け、信じ、信頼することによって救われます。ここで8-9節が関わってきます。神が見られるのは私たちのイエス・キリストへの信仰であり、それが私たちの救いの基盤となるのです。

しかしこれらの聖句は、その信仰さえも8節から9節によれば、それはあなたがたから出したことではなく、神の賜物です。9行いによるのではありません。だれも誇ることのないためです。

自分の行いによるものではなく、神の賜物であり、行いの結果ではないことを明らかにします。それは、だれも誇ることができないためです。来週はこの信仰の賜物についてさらに詳しく見ていきますが、今はただ、そのようなことが起こり得る、あるいはそもそも可能であるという事実が、5節が言うように、あなたがたは恵みによって救われたのです、であり、8節が繰り返すように**あなたがたは信仰によって救われたのです**ということを知っておいてください。

死者は、イエス・キリストを墓からよみがえらせたのと同じ力、すなわち神御自身の力によってのみ、命へとよみがえらせることができます。それゆえ神は、御自身に背いた被造物への深い愛ゆえに、御自身の働きによって、私たちを罪から救うだけでなく、死からよみがえらせ、イエス・キリスト御自身と共に永遠の完全な命へと至らせるために必要なすべてを成し遂げられました。第6節はこう告げています。**神はまた、キリスト・イエスにあって、私たちをともによみがえらせ、ともに天上に座させてくださいました。**神の恵みは、単に罪からの救いをはるかに超えたものなのです。

はい、それはまず、罪と、罪ゆえに私たちが被っている神の怒りの結果から私たちを救うことから始まります。しかし、神の恵みによって成し遂げられていることは、決してそれだけではありません。もう一度7節から始め、今日の箇所である10節の終わりまで読み進めましょう。**7それは、キリスト・イエスにあって私たちに与えられた慈愛によって、この限りなく豊かな恵みを、来たるべき世々に示すためでした。8この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出したことではなく、神の賜物です。9行いによるのではありません。だれも誇ることのないためです。10実に、私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。**

恵みは将来の救いのためだけではなく、生きるために必要なものです。靈的に死んでいた状態からよみがえった神の民は、神の恵みによって生きています。しっかり気をつけていないと、私たちは7節の驚くべき約束、将来に**キリスト・イエスにあって私たちに与えられた慈愛によって、この限りなく豊かな恵みを、来たるべき世々に示すためでした**にばかり注目し、10節にたどり着いた時に、神の恵みの測り知れない富が未来のためだけではなく、今この瞬間のためでもあることを見失ってしまいます。**10実に、私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。**

私たちはいつこれらの善行を行うのでしょうか？永遠の世ではありません。永遠の安息は労働からの休息です。私たちは新しい命を与えられ、イエス・キリストにおいて新しく造られた者となりました。その目的は、今この地上で神に栄光を帰すために善行を行うことです。原語における技量や業を意味する言葉はポエトリー（詩）やポエム（詩篇）はこの語に由来します。それは誰かが創造する何かを意味しますが、特に芸術的で美しいものを指します。

ティム・ケラーはこの聖書箇所についてこう語っています、「あなたが神の作品であるとはどういう意味でしょうか、ご存知ですか？芸術とは何か？芸術は美しく、価値があり、作り手である芸術家の内なる存在の表現です。その意味を考えてみてください。あなたは美しく、あなたは価高く、そしてあなたは芸術家、神聖なる芸術家、神御自身の内なる存在そのものの表現なのです」。あなたの人生は、神が宇宙という羊皮紙に綴る詩です。神があなたの人生に定めた目的を成就し、神の恵みの表現として生きる時、それは美しく輝かしいものとなります。では、私たちはどこで誤ってしまうのでしょうか。神が私たちに望まれることに従うのではなく、自分にとつて最善だと思う人生を創ろうとする時。神が御手の中にあると言われた事柄を心配し、自ら制御しようとする時。人生の選択において神の御心を求める代わりに、他者や状況に選択を委ねたり、自己中心的な欲望に流されたりする時。救いは神の恵みを経験し必要とする最後の時ではなく、私たちが創造された神の御姿と、生きるべき神の栄光を完全に映し出すために、生涯を通じてさらに多くの神の恵みが必要だと理解する始まりの時なのです。

罪は私たちの内に宿る神の御姿を損わせましたが、キリストは神の御姿を回復され、聖霊の働きを通して私たちを聖化へと成長させ、この地上において神に最大の栄光をもたらす働きを行う神

の作品である傑作、神の創造物へと造り上げておられます。そしてこの聖句に示された神の恵みのタイミングを見逃さないでください。神は**あらかじめ** 御自身の恵みによって、**その良い行いをあらかじめ備えてくださいました**とあります。**あらかじめ**とはいつのことでしょうか。それはあなたが救われる前です。あなたが生まれる前です。

詩篇 139 篇 13~18 節 あなたこそ 私の内臓を造り 母の胎の内で私を組み立てられた方です。 14 私は感謝します。あなたは私に奇しいことをなさって 恐ろしいほどです。 私のたましいはそれをよく知っています。 15 私が隠れた所で造られ 地の深い所で織り上げられたとき 私の骨組みはあなたに隠れてはいませんでした。 16 あなたの目は胎児の私を見られ あなたの書物にすべてが記されました。 私のために作られた日々が しかも その一日もないうちに。 17 神よ あなたの御思いを知るのは なんと難しいことでしょう。 そのすべては なんと多いことでしょう。 18 数えようとしても それは砂よりも数多いです。 私が目覚めるとき 私はなおも あなたとともにいます。 神はあなたが造られる前から、あなたの人生のすべての日々を計画されておりました。 実際、エペソ人への手紙第一章にはこう記されています。もしもあなたがイエス・キリストを知っているなら、神は世界が造られる前から、あなたを御自身の作品として選ばれたのです。エペソ人への手紙 7 章 4 節 すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方にあって私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。神の恵みのみによって、神はこの世界が造られる前からあなたを選び、御子イエス・キリストの犠牲によってあなたの罪から贖い、死からよみがえらせ、キリストにある新しい命を与えました。それは、あなたが今、神御自身の傑作として生きる人生を通して、周囲の世界に神の栄光を示すためです。使徒パウロがこの「ポイマ」という語を用いた箇所は、新約聖書で他に一つしかありません。ローマ人への手紙 7 章 20 節 にあります。神の、目に見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性は、世界が創造されたときから被造物を通して知られ、はっきりと認められるので、彼らに弁解の余地はありません。

私たちは**被造物**の一つです。これはエペソ書で作品と訳されると同じ言葉です。神は私たちを用いて、世界に御自身の栄光を示され、人々の罪を咎められ、その同じ人々を御自身のもとに召しておられます。人々があなたの人生を見たとき、神の栄光が現されているのを見るでしょうか？福音の詩、神があなたの人生においてなしておられる御業の美しさを見るでしょうか？彼らは、私たちの神の偉大さと救い主イエス・キリストの栄光をこの世に示す形で、日々あなたの人生に働く神の恵みを見ているでしょうか。それが神の恵みです。私たちの救いはそれに依存し、私たちの生活はそれによって日々神の似姿へと変えられています。あなたはそれを経験しましたか？あなたは恵によって生きていますか？祈りましょう。

## Ephesians 2:1-10 Grace Alone

Last week, we began a series to kick off the new year on the 5 “Solas” of the Reformation and the foundational truths that form who we are as a church and what we believe. The first Sola we studied was Sola Scriptura – Scripture Alone. The Bible is the inspired, inerrant, infallible Word of God, and it is the authority in our lives. Today we look at the second Sola of the Reformation, Sola Gratia, Grace alone. This means that our salvation is completely dependent on God’s favor that he shows to us that we do not deserve and cannot earn. It goes hand in hand with faith alone and Christ alone that we will look at in the next two weeks. The definition of Grace is God’s undeserved favor and kindness that he shows to us. It is at the very core of our faith. Our passage today, Ephesians 2:1-10 shows us how **God’s grace is necessary to our lives**, and why the reformers were willing to take a stand against one of the most powerful entities on earth, the Roman Catholic Church, to defend the truth that salvation is completely and totally a work of God’s grace.

Let’s begin by reading the first 3 verses of Ephesians 2 where we see that **God’s grace is necessary to our lives because, dead people need grace.** **2 And you were dead in the trespasses and sins** <sup>2</sup> in which you once walked, following the course<sup>[a]</sup> of this world, following the prince of the power of the air, the spirit that is now at work in the sons of disobedience—<sup>3</sup> among whom we all once lived in the passions of our flesh, carrying out the desires of the flesh and the mind, and were by nature children of wrath, like the rest of mankind.<sup>[b]</sup> Why do we need grace? We were dead people! Do you know what dead people do for themselves – nothing! This is the true state of everyone as soon as they are born in their sin. A few weeks ago we talked about the nature of our sin, that it is both by our very nature and by our choice that we sin against God. While on the outside it may seem that we are very moral and good people. Even in the eyes of society, we can be people of respect and honor. But in the eyes of God and in the light of God’s Word, our lives are being lived as dead people under the control of spiritual evil. The description of being dead in sin starts simple enough – we are “**following the course of this world.**” But it quickly turns spiritual, we are actually following Satan, here called the “**prince of the power of the air.**” It is Satan’s spirit, his desires that are at work in our hearts as “**sons of disobedience.**” It’s easy to look at our lives and push back against this description. What?! I’m not serving Satan! I’m not being intentionally disobedient to God! In our minds that can mean, I’m not committing murder, adultery, stealing, hating people (at least anyone who doesn’t deserve it). Surely, I am not included in these people who are dead in their sin. But that is because we think that Satan wants people to be God haters who go around trying to create atheists. We picture the worst sinner in our head as someone who hates God. But the truth is that Satan doesn’t want any of that. He is perfectly fine with creating very moral human beings who never think about God but have the full respect of the world around them. So, you can follow the “**course of the this world,**” which means in Japan, you are a great employee, who has a great family, who gets along in respectable and honorable way in society, and still be following Satan because you reject the God who created you. Or you can follow the “**course of this world,**” that honors you as a multi-billionaire genius, and still be following Satan the same as a murderous cult leader who maybe claims to be a Satanist. The reason we don’t see that is that our view of sin is not God’s view. We think of big things like murder as sin, but we don’t think that every act of selfishness on our part is an offense against an infinitely holy God. But verse 3 makes clear the selfish nature of our sin - **among whom we all once lived in the passions of our flesh, carrying out the desires of**

**the flesh and the mind.** At the root of our sin is a desire to live by our own rules, rather than God's rules. That's why Romans 3:23 tells us that **all have sinned and fall short of the glory of God.** Rather than living in obedience to God and making decisions that glorify him, we live by rules we create for ourselves based on our own desires or created by society around us that is not following God either. And the fact is that we can't do anything about the state of our sin because as these verses begin by pointing out, we are dead in them. This truth led the reformers especially John Calvin to recognize that the Bible teaches that all humans are **Totally Depraved**...we cannot do anything to save ourselves from that sin. A dead person cannot do anything for themselves and our sin leaves us in the same predicament spiritually. And while we are spiritually dead here on earth, the final result of our sin is an eternal death. We see this in that we are called, "**children of wrath.**" Our sin deserves and must be punished by a holy God because he is perfect and holy, and all our sin is directly against him. He is our creator and by being the one who created us, he has the right to determine what is sin and what isn't, and to demand that his creatures bring glory to him. When we don't his justice demands that he punish our wickedness because of his hatred, wrath against our sin. Our spiritual death during physical life will become eternal death in torment if we remain in that sin until our death.

But notice the past tense of this situation... **you WERE**, not ARE. The reason this could be in past tense and not presently true is because **dead people receive grace.** Look at verses 4-9, that begins with what may be the two greatest words in the entire Bible.

**<sup>4</sup> But God**, being rich in mercy, because of the great love with which he loved us, **<sup>5</sup> even when we were dead in our trespasses**, made us alive together with Christ—by grace you have been saved— **<sup>6</sup> and raised us up with him and seated us with him in the heavenly places in Christ Jesus,** **<sup>7</sup> so that in the coming ages he might show the immeasurable riches of his grace in kindness toward us in Christ Jesus.** **<sup>8</sup> For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God,** **<sup>9</sup> not a result of works, so that no one may boast.** Our sin left us dead, helpless and hopeless, BUT GOD came to our rescue. We could do nothing to save ourselves, so God through an act of greater mercy and deeper love than we can really imagine, sent Jesus Christ to save us from our sin. The Apostle John tells us how deep this act of love really is. **John 3:16 says, 16 "For God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life.** God the Father gave his son, Jesus Christ to the world to die for the world. **1 Peter 2:24** tells us that this is what it meant for Jesus to be given for us. It says, **He (Jesus) himself bore our sins in his body on the tree, that we might die to sin and live to righteousness. By his wounds you have been healed.** When Jesus died on the cross, he died as the perfect sacrifice for sin, he took our place, our punishment on that cross. We are saved by repenting of our sin, turning away from our sin and confessing that it is sin against God; and turning to Jesus, believing and trusting in him as the one who died for that sin. That is where verses 8-9 come in. It is our faith in Jesus Christ that God sees and it becomes the basis for our salvation. But these verses our clear that even that faith – according to verse 8 to 9 ...**is not of your own doing; it is the gift of God, not a result of works, so that no one may boast.** Next week, we will look more closely at this gift of faith, but for now just know that the fact that that can even happen or is possible at all is as verse 5 says, **by grace you have been saved...** and verse 8 repeats, **by grace you have been saved.** Dead people can only be raised to life by the same power that raised Jesus Christ from the grave – the power of God himself. So God through his own work, because of his deep

love for his creatures who sinned against him, did everything necessary to not only save us from sin, but to raise us from death to eternal perfect life with Jesus Christ himself. Verse 6 tells us, God...**raised us up with him and seated us with him in the heavenly places in Christ Jesus...** His grace goes so much further than just our salvation from sin.

Yes, it starts with saving us from sin and the consequences of God's wrath that we are under because of sin; but this is by no means the extent of what God is accomplishing by his grace. Let's start back at verse 7 again, and read through the end of today's passage verse 10. **7 so that in the coming ages he might show the immeasurable riches of his grace in kindness toward us in Christ Jesus. 8For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, 9 not a result of works, so that no one may boast. 10 For we are his workmanship, created in Christ Jesus for good works, which God prepared beforehand, that we should walk in them.** Grace is not just for future salvation, grace is necessary for life. Now **raised from being spiritually dead, God's people live by God's grace.** If we are not careful we can get so focused on the incredible promise of verse 7, that in the ***future, the coming ages he might show the immeasurable riches of his grace in kindness toward us in Christ Jesus,*** that we fail to see the immeasurable riches of his grace are not just for the future but for now when we get to verse 10. **10 For we are his workmanship, created in Christ Jesus for good works, which God prepared beforehand, that we should walk in them.** When will we do these good works? Not in eternity. That is our eternal Sabbath rest from work. No...we have new life, we are a new creation in Jesus Christ for the purpose of doing good works that glorify God now, here on this earth. That word workmanship in the original language is *poiema*. We get our modern English words of poetry and poem from that word. It means something that someone is creating, but specifically something artistic and beautiful.

Tim Keller had this to say regarding this passage: **Do you know what it means that you are God's workmanship? What is art? Art is beautiful, art is valuable, and art is an expression of the inner being of the maker, of the artist. Imagine what that means. You're beautiful ... you're valuable ... and you're an expression of the very inner being of the Artist, the divine Artist, God Himself.** Your life is God's poetry that he is writing on the parchment of his universe, and it is beautiful and glorious when your life is lived as an expression of God's grace in fulfillment of his purpose for your life. So, where do we go wrong? In trying to create the life we think is best for us, rather than submitting to what God wants for us. In worrying about the things God has said are in his control and trying to control them ourselves. In letting other people and circumstances determine our choices or our selfish desires rather than seeking God's will in the choices that we come to in our lives. Salvation is not the end of our experience and need for God's grace, it is the beginning of understanding that we need more of God's grace for all of our lives to fully reflect the image of God we were created to be and the glory of God we were intended to live for. Sin had wrecked God's image in our lives, but Christ restores the image of God and through the work of the Holy Spirit is growing us in holiness and sanctification to be the masterpiece, God's workmanship, his creation that does the work that brings him the most glory here on this earth.

And don't miss the timing of God's grace in this verse. It says that God prepared those works for us to do by his grace, "**beforehand.**" When is **beforehand?** It is before you

were saved. It is before you were even born. Psalm 139:13-18 says, For you formed my inward parts; you knitted me together in my mother's womb.

14 I praise you, for I am fearfully and wonderfully made. Wonderful are your works; my soul knows it very well. 15 My frame was not hidden from you, when I was being made in secret, intricately woven in the depths of the earth. 16 Your eyes saw my unformed substance; in your book were written, every one of them,

the days that were formed for me, when as yet there was none of them. God planned your days of your life before you were even created. In fact Ephesians 1 says that if you know Jesus Christ, he chose you to be his own workmanship before the creation of the world itself. Ephesians 1:4 tells us that “he [God] chose us in him [Jesus Christ] before the foundation of the world, that we should be holy and blameless before him. Purely out of God’s grace, he chose you before this world was created, to redeem you from your sins through the sacrifice of his own son, Jesus Christ, to raise you from the dead and give you a new life in Christ that shows the glory of God to the world around you, through the life you now live as a masterpiece of God himself. There is only one other place in the New Testament where the Apostle Paul uses this word POIMA. It is in Romans 1:20 20 For his invisible attributes, namely, his eternal power and divine nature, have been clearly perceived, ever since the creation of the world, in the things that have been made. So they are without excuse. We are one of the “things that have been made.” It is the same word as Ephesians for workmanship. God is using us to display his glory to the world to condemn people in their sin and to call those same people to himself. When people look at your life are they seeing God’s glory displayed? Are they seeing the poetry of the gospel, the beauty of God’s work that God is doing in your life? Are they seeing God’s grace at work in your life every single day in a way that displays to the world the greatness of our God and the glory of our Savior Jesus Christ. That is God’s grace. Our salvation depends on it, and our lives are daily being changed into God’s image by it. Have you experienced it? And are you living by it? Let’s pray.